

留 学 報 告 書

記入日:2018年9月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部/商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2018年5月～2018年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年8月14日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41910
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6412	712892 円	
宿舍費	4482	489925 円	
食費	321	36613 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	227	25804 円	
教養娯楽費	637	72618 円	
被服費	194	22115 円	
医療費	0	0 円	
保険費	370	42130 円	形態: 大学から案内されたもの
渡航旅費	0	0 円	マイルで航空券をとった
雑費	100	11442 円	
その他	184	21005 円	現地スマートフォン本体代・月々料金
その他	345	39361 円	visa 取得
その他		円	
合計	13272	1,473,905 円	

渡航関連

渡航経路: 日本～サンフランシスコ直通

渡航費用

チケットの種類	マイレージ航空券・エコノミークラス
往路	0
復路	0
合計	0

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

なし

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮(international house)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

インターネット

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

古い寮ですが、清潔感があり、過ごしやすかったです。水回りが共用であるのが少し不便でしたが、その他大きな問題はありませんでした。食事もおいしく感じました。相部屋を選択しましたが、12 週間のうち 5 週目からルームメートが入ってきました。私はたまたま広い部屋が割り当てられましたが、人によっては狭い部屋に 2 段ベッドで、少し窮屈そうでした。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

日本人や、寮のレジデンシャルアシスタントに相談した。利用しなかったが、留学生向けのオフィスが寮にあり、様々な相談ができるようになっていた。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

主にインターネットで情報収集をしたが、手荷物の管理に気を付けるくらいで、特別な防犯対策はしなかった。犯罪に巻き込まれることも無かった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、大学ともに wifi は問題なく利用できた。もともと使用していたのはアメリカの電波を受信できない android であったため、sim の差し替えはできず、wifi 環境下のみで使用していた。それとは別にアメリカで利用できるスマートフォンを日本で契約して持って行き、4G 通信も利用していた。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で両替した現金とクレジットカードを併用。万が一のためにアメリカの ATM から現金を引き出せるようにデビットカードをつくり持って行ったが、使用しなかった。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

電子辞書。薬。基本的にはなんでも現地で調達できますが、日本のものの方が安心な風邪薬などは持っていくと良いと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

留学は5月に開始だったが、授業料の支払いは2月頃。両親のクレジットカードで支払った。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
人からの話。インターネット。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
未定
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
3年生の5月～8月に留学したため、選考に参加できないサマーインターンシップは多かったです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Analytic Decision Modeling Using Spreadsheets	
科目設置学部・研究科	Haas bussiness school
履修期間	sessionA
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Richard Hunstinger
授業内容	Excelを使用し、ビジネスに関連するデータ分析を行う。最初の数回は高校生レベルの統計の内容であったが、その他は回帰分析、リスク分析など理論を理解するのに時間がかかる内容を扱った。
試験・課題など	インターネット教科書を利用し、その教科書についているオンライン問題集が課題。試験は持ち込み可で2回。
感想を自由記入	オンラインの問題集を解く課題が、現地生でも期限内に提出できる人が少ないほど、時間のとられるものだった。先生がとても熱心で、休日でもSkypeで対応して下さるほどオフィスアワーが充実していたため、なんとかやりきることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Special Topics in Innovation and Design	
科目設置学部・研究科	Haas Bussiness school
履修期間	Session A
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Omar Romero-Hernandez
授業内容	
試験・課題など	ケーススタディを読み簡単なレポートを作成する課題が数回。試験は期末のみ。
感想を自由記入	日本ではあまり扱うことのないような特殊な内容であったため学習しにくい部分はあったが、先生がとても親切であり英語の能力が不十分であることなどは配慮して下さった。院生や現地生が多く、たまに行うディスカッションにはついていけなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Industrial Organizational Psychology	産業心理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	SessionD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Christian Wright
授業内容	産業心理学について基礎的な内容を学ぶ。採用や人事評価に関する、理論や手法に関する内容が多かった。試験が教科書と授業で扱うスライドを読めば点数がとれる内容であるため、授業に出ていない人も一定数いた印象。
試験・課題など	4回のレポート提出と2回の試験。どちらもある程度の時間はかかるが、それほど難しくはなかった。
感想を自由記入	先生が陽気な方で、いつも元気に授業をされていた。4回のレポートと、時間をかければ高得点のとれる試験であったため、学習のしやすい授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Technology vs. Psychology: The Internet Revolution and the Rise of the Virtual Self	
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	SessionD
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Elias Aboujaoude
授業内容	インターネットや情報技術に関連した倫理的問題や精神疾患を扱う。
試験・課題など	2回の試験と期末レポート
感想を自由記入	試験が短文解答形式であったため、英語の能力が十分でない私には細かい範囲まで暗記することが難しく、良い得点をとることができなかった。授業内容は興味深くもっと深く学んでみたいと思えるようなものであった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	1月 パスポート更新、 2月 現地大学へ申し込み、授業登録、寮申し込み、航空券購入、ビザ取得
4月～7月	5月 授業開始
8月～9月	8月 帰国
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>高校生の頃から海外に興味があり、留学に憧れていますが、大学生になり海外への関心も留学への憧れも薄れていました。だからこそ、自らが本当に海外へ関心を持っていないのかや、海外で暮らし、働くことをどのように感じるのかを確かめたいという思いで、留学を決めました。また世界中の優秀な学生と同じレベルで勉強できるのかという面で、自らに挑戦してみたかったという思いもありました。明治大学には奨学金制度が充実しており、単位交換もできるため、留学によって犠牲にするものが少なかったことも留学を決めた一つの理由です。</p>
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	<p>特にはないですが、強いていうならば英語の学習です。実際に留学先に行って、自分が思っていたよりも英語が聞き取れないことに驚きました。留学生や、発音にくせのある教授の英語、ネイティブの早口の英語を聞き取るのは難しかったです。また、同じプログラムで留学している人が多いからこそ、経験者にもっと話を聞いておけばよかったという思いもあります。2人部屋を選択しても何週間かは1人で過ごすことになる方が多い、ジムを無料で使用できる、現地生にライティングを添削してもらえるサービスがあるなど、初めから知っていればより充実した留学になっていたであろうと思うことが多くありました。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>世界的にみてもレベルの高いレベルの大学で自分の力を試してみたかったというのが大きな理由です。カリフォルニア大学のサマーセッションのプログラムは授業料負担型であるため、入学当初には1年間や半年の交換留学を考えていましたが、明治大学のトップユニバーシティ奨学金ができたため、参加の決断をすることができました。英語力の向上や海外の友達をつくるためには3か月では短いかもしれませんが、自らの力を試したり、自分自身と将来について考えるためには3か月で十分であったと思います。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>広大な設備の整ったキャンパスで快適に勉強できます。自然が多く、キャンパスを歩いているだけでも気持ち良いです。大学の周りには学生向けの飲食店などが充実しています。現地の学生は真面目にたくさん勉強する人が多かったと思います。大学院進学のために良い成績をとろうと競い合う雰囲気があるようです。サマーセッションに来ている学生は、遊びと勉強のメリハリをつけられる人が多いように感じました。現地生も留学生もフレンドリーな人ばかりでした。</p>
寮の雰囲気	<p>留学生の多い寮で、世界各国から来た学生が暮らしていました。食堂や寮の主催するイベントなどで、交流を深める機会も多いです。古い寮ですが、共有部分には業者の清掃が入りますし、鍵の管理などもきちんとしており、ビジネスホテルのような雰囲気を感じていました。現地生や教授から、international house がバークレーで最も良い寮だという話を聞くことも多かったです。後半は前半に比べて学生数が増え、600人近くが住むことになるので、エレベーターや食堂が混雑し、少し不便に感じることもあるかもしれません。</p>
交友関係	<p>前半にとっていた授業は宿題がとて多かったため、オフィスアワーに通っている学生同士で仲良くなり、協力し合って宿題をこなしていました。そのほかでは寮のイベントをきっかけに知り合ったり、寮の食堂で友達を紹介しあうことで仲良くなるが多かったです。食堂でひとりで食事をしていると全く知らない人が隣に座ってきておしゃべりが始まるなんてこともあります。明治大学、東京大学、ICU、早稲田大学などから来ている日本人学生同士は様々な面で助け合う良い関係性が築かれていたと思います。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>大きな問題は特にありませんでした。辛かったのは、英語では自分の考えていることを詳細に、正確に伝えられないことです。授業中にグループディスカッションがあると、議論についていけず、何度も説明し直してもらったり、意見をまとめるまでに時間がかかってしまったりしたため、他の学生に申し訳ない気持ちになりました。テスト勉強や課題は大変なことも多かったです。教授や友達などに助けていただき、そこまで追い詰められることはありませんでした。</p>
学習内容・勉強について	<p>前半はビジネス系、後半は心理学系の授業をとりました。ビジネスの授業は1クラスの人数がすくないため、先生との距離も近く、クラスのみんなで丸となって学んでいる感じがしました。オフィスアワーで教授と話したり、学生同士で課題を助けあうことも多かったです。後半の心理学系の授業はどちらも1クラスの人数が100人近かったため、自分でどれだけ勉強し、試験と課題でどれだけ良い得点を取るかが重要であるように感じました。</p>

課題・試験について	授業によって形式も採点の厳しさも様々です。私に関しては、前半に受けたビジネスの授業では、やる気と努力をみせればそれを考慮した採点をしてもらえるように感じました。後半の心理学の授業では、留学生の多い授業であったため、採点基準はそこまで厳しくなかったかもしれませんが、得点としての結果が全てでした。私の受けた授業どれもリーディングの課される量は少なかったため、テスト前に暗記作業を課題の問題集やレポートが大変でした。
大学外の活動について	前半は勉強ばかりでしたが、後半には生活にも学習にも慣れてきたため、ジムで運動をしたり、週末に観光を楽しむことができました。私はダンスが好きであるため、学内のジムで行われていて無料で参加できるエクササイズダンスやヨガのクラスに行くのが良い気分転換になっていました。週末に泊りがけでロサンゼルスやラスベガスまで旅行に行っている人も多かったので、留学開始前から準備をしておけば観光も存分に楽しめるかもしれないです。
留学を志す人へ	準備の段階から帰国するまで大変なことが多いと思いますが、無駄なことはひとつもなかったと感じています。大変なこともたくさんの人に助けられ乗り越えられましたし、総じてとても良い留学となりました。環境が変わり、関わる人が変わり、日本にいる時よりも勉強以外にやるべきことが少なくなる留学中には、日本では得られない学びがあるはずです。明治大学は奨学金が充実していますし、単位交換も寛容な学部が多いはずなので、留学に挑戦しやすい環境ではあると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習
	自習	授業	授業	授業	自習	自由時間	自習
午後	自習	自習	自習	オフィスアワー	自習	自由時間	自習
	自由時間	授業	授業	自習	自習時間	自由時間	自由時間
夕刻	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
夜	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習